

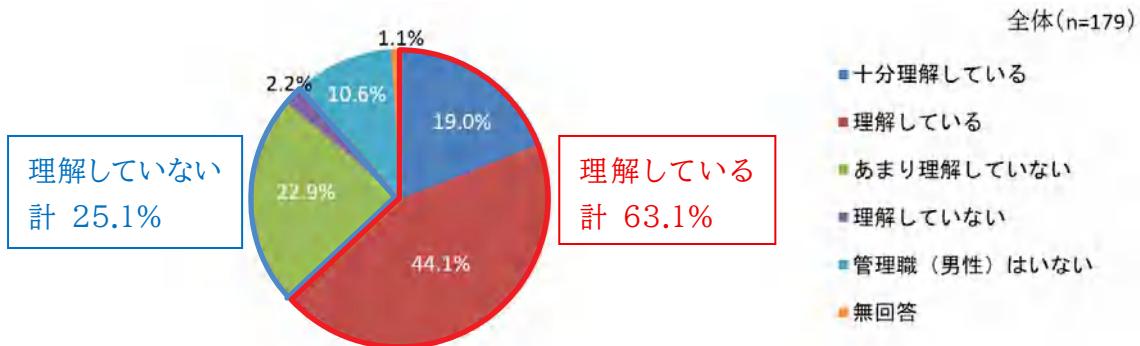
3. 職場の理解及び制度（支援内容）

(1) 職場の理解 管理職（男性）

問9.

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、管理職（男性）は理解していると思いますか。
(回答は1つ)

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は 19.0%、「理解している」は 44.1%で、合わせて 63.1%（理解している計）、「あまり理解していない」は 22.9%、「理解していない」は 2.2%で、合わせて 25.1%（理解していない計）、「管理職（男性）はいない」は 10.6%である。



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の2つの項目。

- ・不動産業、物品賃貸業で「十分理解している」と答えた方 45.5%
- ・運輸業、郵便業で「あまり理解していない」と答えた方 53.8%



■十分理解している ■理解している ■あまり理解していない ■理解していない ■管理職（男性）はいない ■無回答

 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

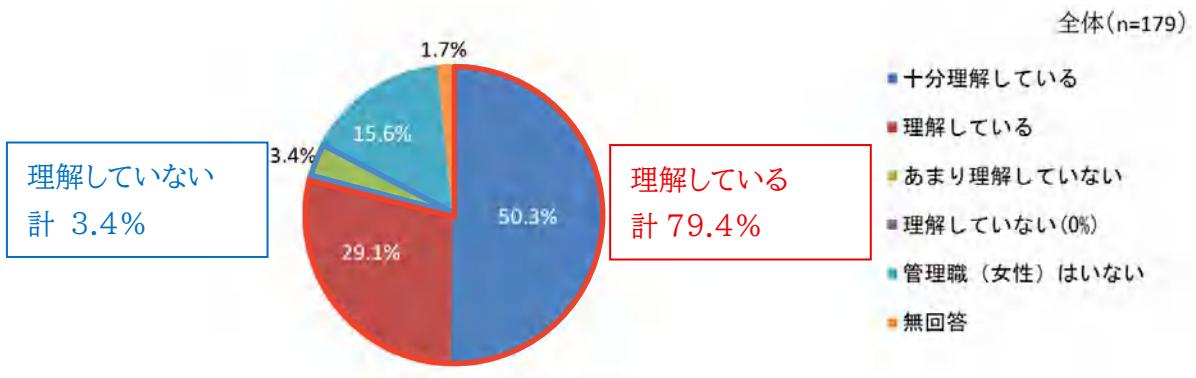
 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher 検定では有意差なし)

(2) 職場の理解 管理職（女性）

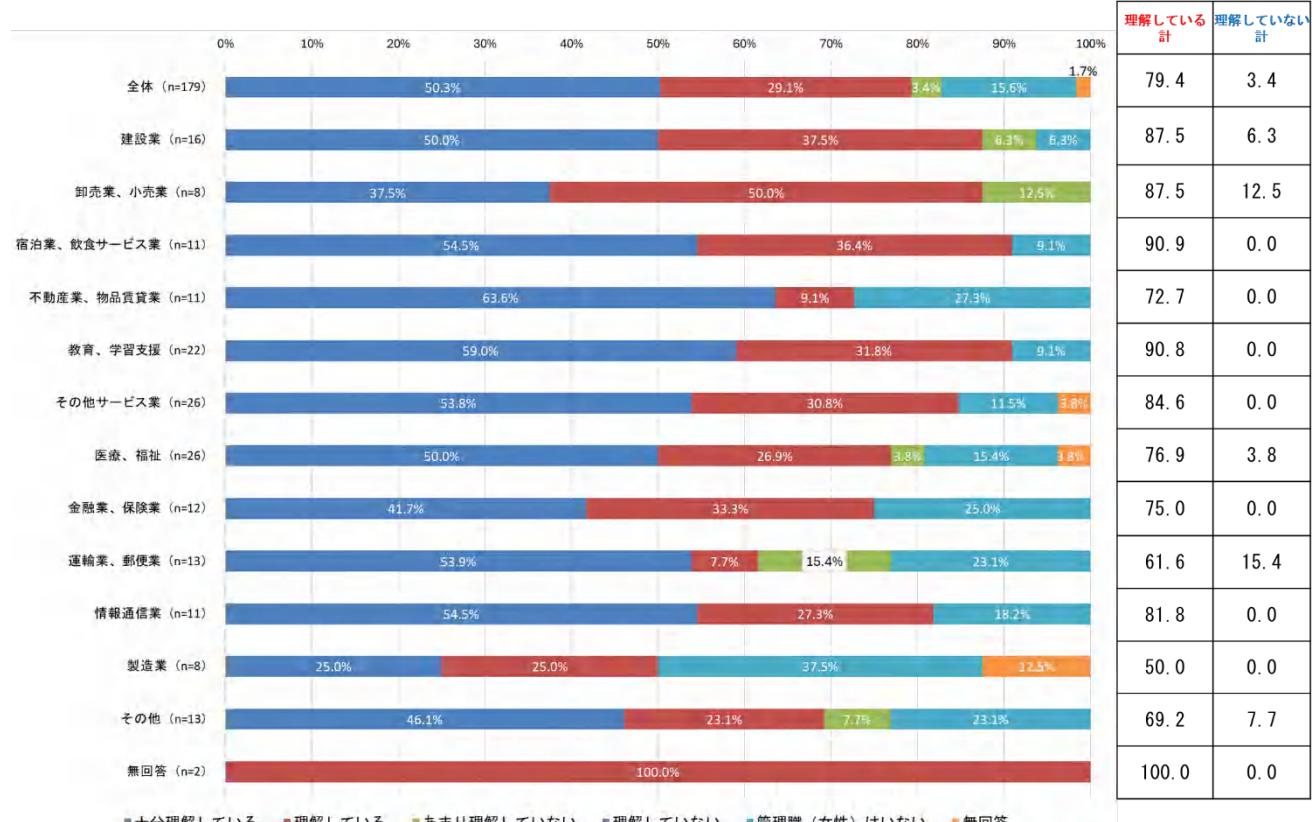
問10.

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、管理職(女性)は理解していると思いますか。
(回答は1つ)

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は 50.3%、「理解している」は 29.1%で、合わせて 79.4%（理解している計）、「あまり理解していない」は 3.4%、「理解していない」は 0.0%で、合わせて 3.4%（理解していない計）、「管理職(女性)はいない」は 15.6%である。



【業種別の集計】



 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

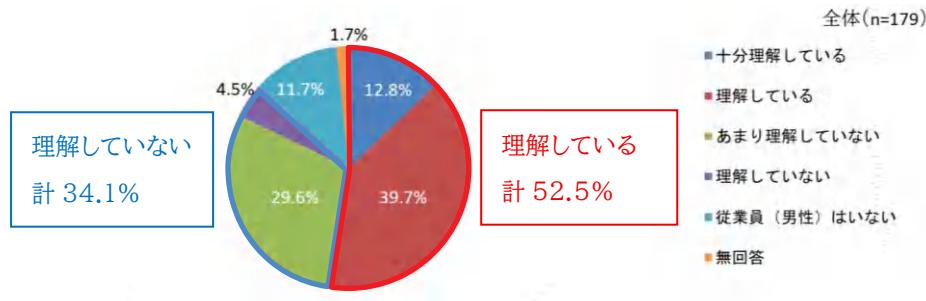
 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(3) 職場の理解 管理職以外の従業員（男性）

問11.

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、管理職以外の従業員（男性）は理解していると思いますか。（回答は1つ）

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は12.8%、「理解している」は39.7%で、合わせて52.5%（理解している計）、「あまり理解していない」は29.6%、「理解していない」は4.5%で、合わせて34.1%（理解していない計）、「従業員（男性）はいない」は11.7%である。



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の1つの項目。

・不動産業、物品賃貸業で「十分理解している」と答えた方 54.5%

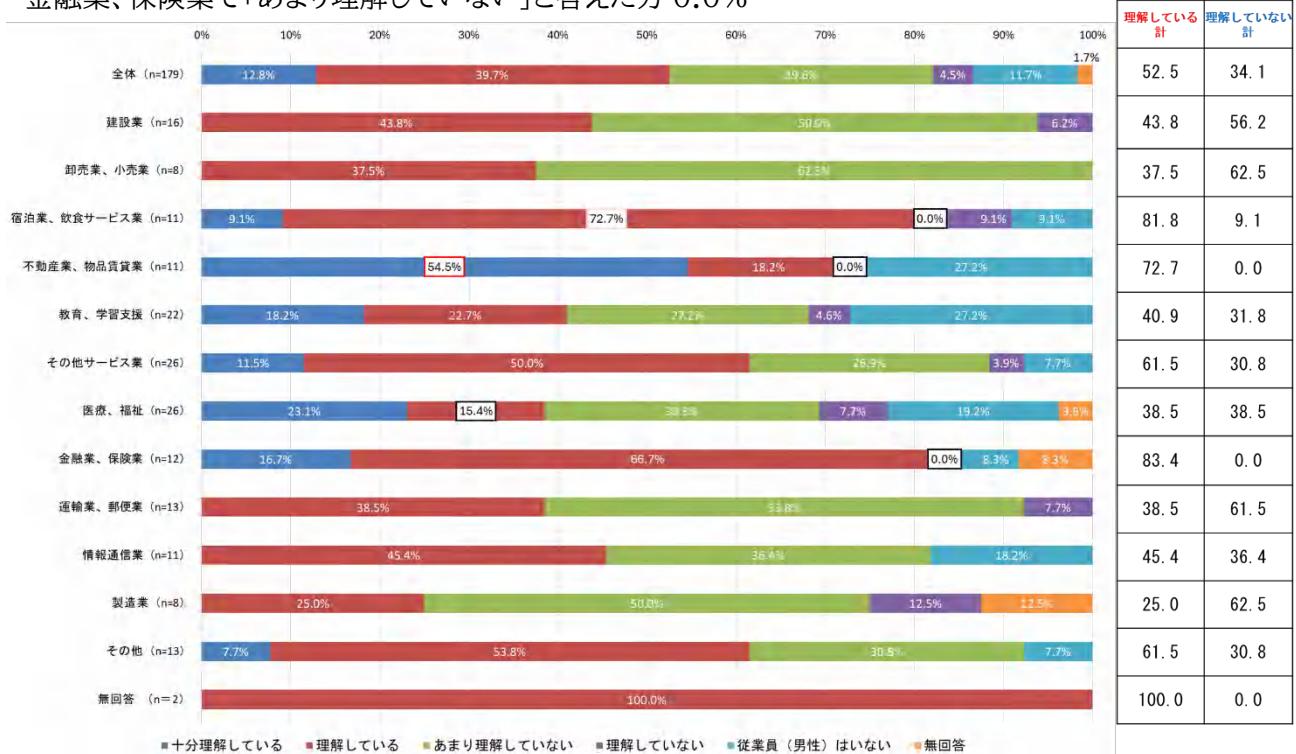
全体結果と比べて有意に低かったのは以下の4つの項目。

・宿泊業、飲食サービス業で「あまり理解していない」と答えた方 0.0%

・不動産業、物品賃貸業で「あまり理解していない」と答えた方 0.0%

・医療、福祉で「理解している」と答えた方 15.4%

・金融業、保険業で「あまり理解していない」と答えた方 0.0%



■十分理解している ■理解している ■あまり理解していない ■理解していない ■従業員（男性）はいない ■無回答

 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

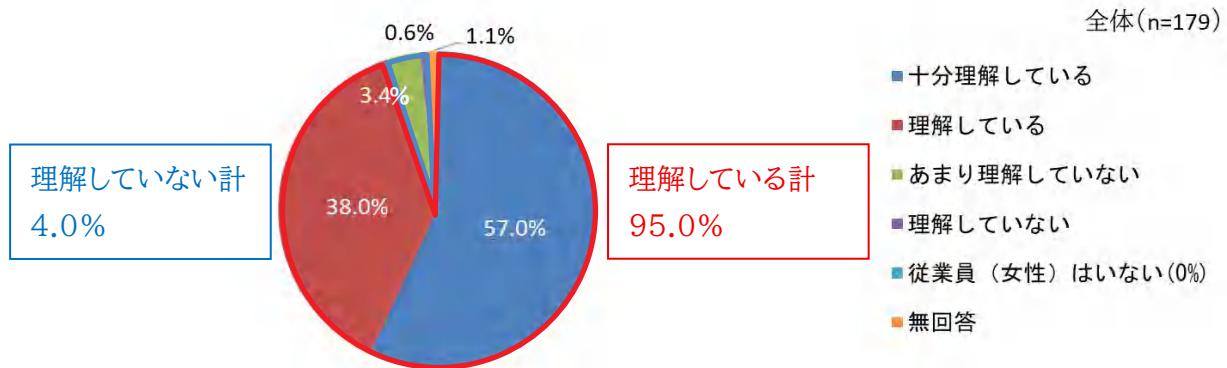
 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(4) 職場の理解 管理職以外の従業員（女性）

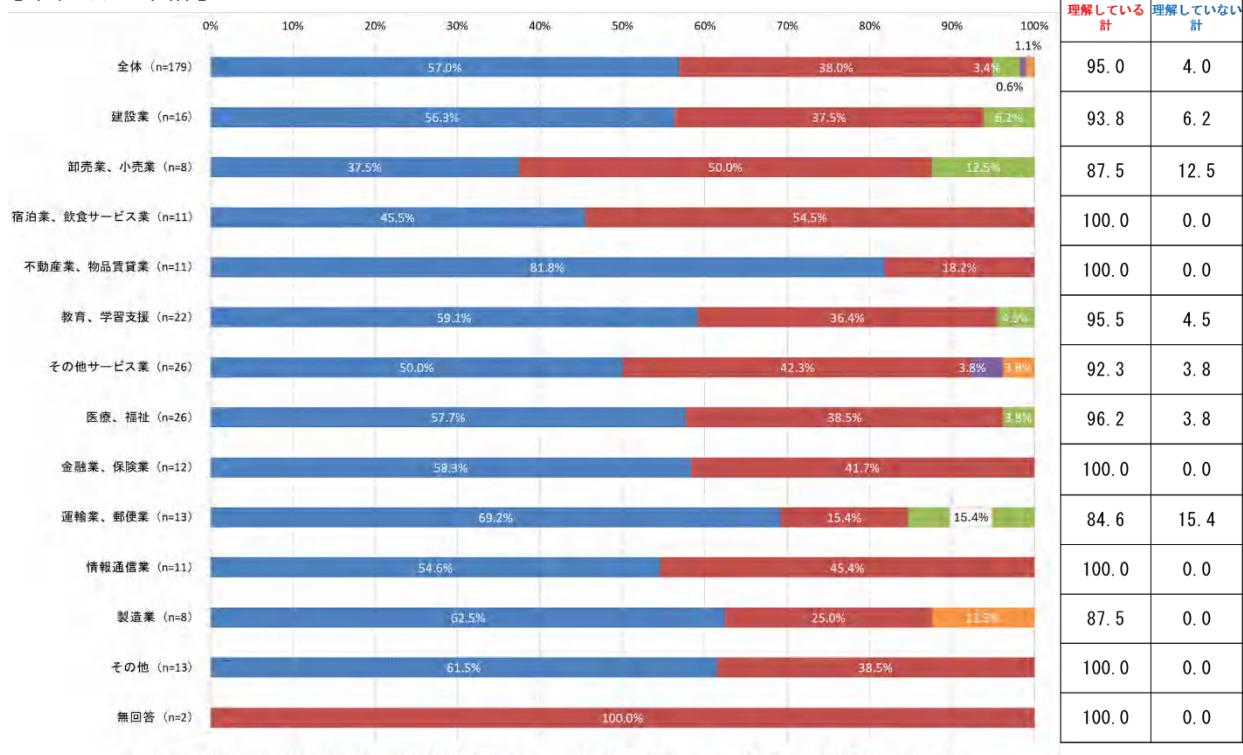
問12.

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、管理職以外の従業員（女性）は理解していると思いますか。（回答は1つ）

女性従業員の生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は57.0%、「理解している」は38.0%で、合わせて95.0%（理解している計）、「あまり理解していない」は3.4%、「理解していない」は0.6%で、合わせて4.0%（理解していない計）、「従業員（女性）はいない」は0.0%である。



【業種別の集計】



 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

職場の理解 結果まとめ

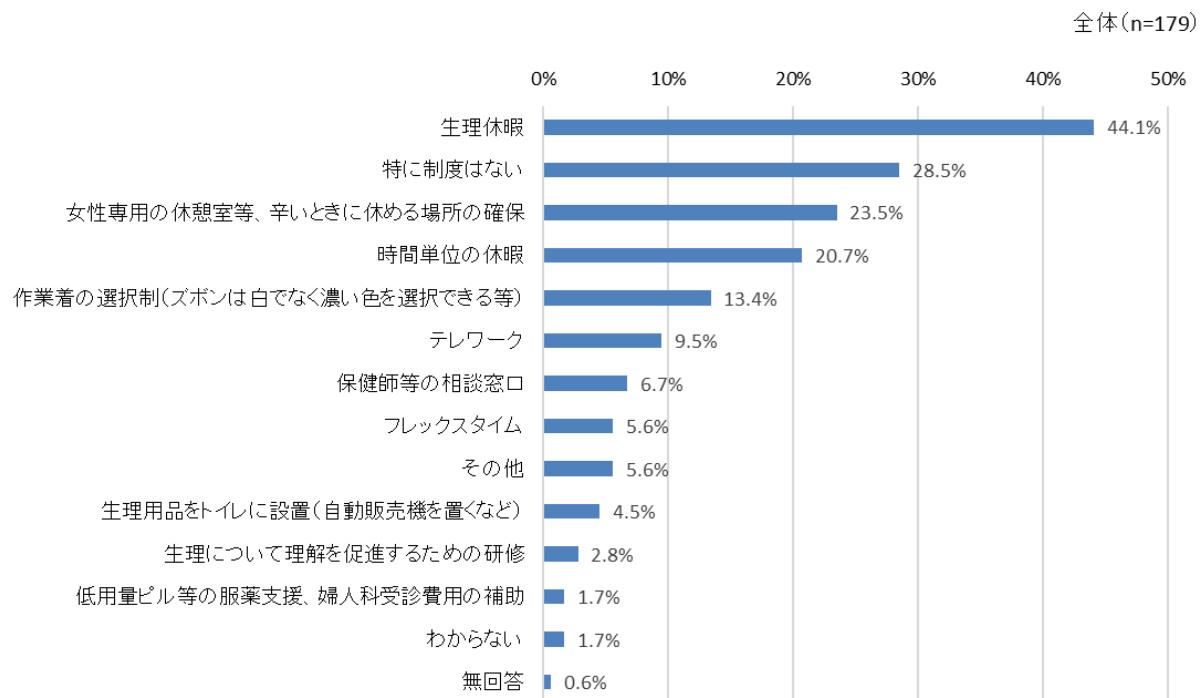
	グラフ	理解している 計	理解していない 計	対象がいない ・無回答計						
管理職 (男性)	<p style="text-align: center;">全体(n=179)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解している</th> <th>理解していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63.1%</td> <td>25.1%</td> <td>11.7%</td> </tr> </tbody> </table>	理解している	理解していない	無回答	63.1%	25.1%	11.7%	63.1%	25.1%	11.7%
理解している	理解していない	無回答								
63.1%	25.1%	11.7%								
管理職 (女性)	<p style="text-align: center;">全体(n=179)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解している</th> <th>理解していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79.4%</td> <td>3.4%</td> <td>17.3%</td> </tr> </tbody> </table>	理解している	理解していない	無回答	79.4%	3.4%	17.3%	79.4%	3.4%	17.3%
理解している	理解していない	無回答								
79.4%	3.4%	17.3%								
従業員 (男性)	<p style="text-align: center;">全体(n=179)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解している</th> <th>理解していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.5%</td> <td>34.1%</td> <td>13.4%</td> </tr> </tbody> </table>	理解している	理解していない	無回答	52.5%	34.1%	13.4%	52.5%	34.1%	13.4%
理解している	理解していない	無回答								
52.5%	34.1%	13.4%								
従業員 (女性)	<p style="text-align: center;">全体(n=179)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解している</th> <th>理解していない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.0%</td> <td>4.0%</td> <td>1.1%</td> </tr> </tbody> </table>	理解している	理解していない	無回答	95.0%	4.0%	1.1%	95.0%	4.0%	1.1%
理解している	理解していない	無回答								
95.0%	4.0%	1.1%								

(5) 職場にある制度、支援策など

問13.

生理前・生理中の症状に対処するための職場にある制度、支援策などを選択してください。
(回答はいくつでも)

「生理休暇」が44.1%で最多、次に「特に制度はない」が28.5%、その次に「女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保」が23.5%である。



「その他」の主な回答

- ・生理に関する従業員アンケートの実施や「生理休暇」の呼称変更など。
- ・健康診断の際、婦人科健診費用負担。
- ・「生理休暇」ではなく、「セルフケア休暇」として、対象範囲を生理、PMS、更年期、健康診断、療養、不妊治療としている。※休暇扱いとして賃金は支給しない
- ・特別な制度はないが、早退遅刻の理由は問わない。
- ・医師に無料で相談できる体制が整えられている。
- ・女性が殆どの職場であるため、生理痛も含め、体調不良の場合は、男女関係なく、休暇や時間単位の休暇がとりやすいような環境にしている。
- ・年休、夏季休暇、指定休などで休んでもらう。

【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の5つの項目。

- ・金融業、保険業で「生理について理解を促進するための研修」と答えた方 16.7%
- ・金融業、保険業で「生理休暇」と答えた方 83.3%
- ・その他で「生理について理解を促進するための研修」と答えた方 23.1%
- ・その他で「テレワーク」と答えた方 30.8%
- ・その他で「時間単位の休暇」と答えた方 46.2%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の1つの項目。

- ・金融業、保険業で「特に制度はない」と答えた方 0.0%

	生理について理解を促進するための研修	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保	作業着の選択制（ズボンは白でなく濃い色を選択できる等）	保健師等の相談窓口	テレワーク	フレックスタイム	時間単位の休暇	生理休暇	生理用品をトイレに設置（自動販売機を置くなど）	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助	その他	わからない	特に制度はない	無回答	
単位(%)															
全体(n=179)	2.8	23.5	13.4	6.7	9.5	5.6	20.7	44.1	4.5	1.7	5.6	1.7	28.5	0.6	
建設業(n=16)	0.0	18.7	6.2	6.2	6.2	0.0	12.5	56.2	6.2	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	
卸売業、小売業(n=8)	0.0	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
宿泊業、飲食サービス業(n=11)	0.0	27.3	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	45.4	0.0	
不動産業、物品賃貸業(n=11)	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	45.4	0.0	
教育、学習支援(n=22)	0.0	18.2	4.5	4.5	0.0	0.0	27.3	36.4	9.1	0.0	4.5	0.0	40.9	0.0	
その他サービス業(n=26)	0.0	15.4	15.4	0.0	7.7	3.8	23.1	42.3	11.5	0.0	11.5	3.8	23.1	0.0	
医療、福祉(n=26)	0.0	26.9	19.2	7.7	11.5	7.7	15.4	23.1	0.0	3.8	7.7	0.0	38.5	0.0	
金融業、保険業(n=12)	16.7	16.7	8.3	16.7	16.7	0.0	41.7	83.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	
運輸業、郵便業(n=13)	0.0	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7	30.8	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	
情報通信業(n=11)	0.0	27.3	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	63.6	18.2	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	
製造業(n=8)	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	
その他(n=13)	23.1	23.1	15.4	7.7	30.8	15.4	46.2	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	
無回答(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	

■ 全体結果よりも有意に高い

■ 全体結果よりも有意に低い

参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(6) 生理休暇について

«問13で⑧選択»

問13-1. 生理休暇は有給、無給どちらですか。

生理休暇があると回答した経営者に対して、生理休暇は有給と無給のどちらかをたずねたところ、有給は50.6%、無給は49.4%である。

	回答者数(人)	構成比(%)
全体	79	100.0%
有給	40	50.6%
無給	39	49.4%

(7) 生理休暇の従業員への周知状況

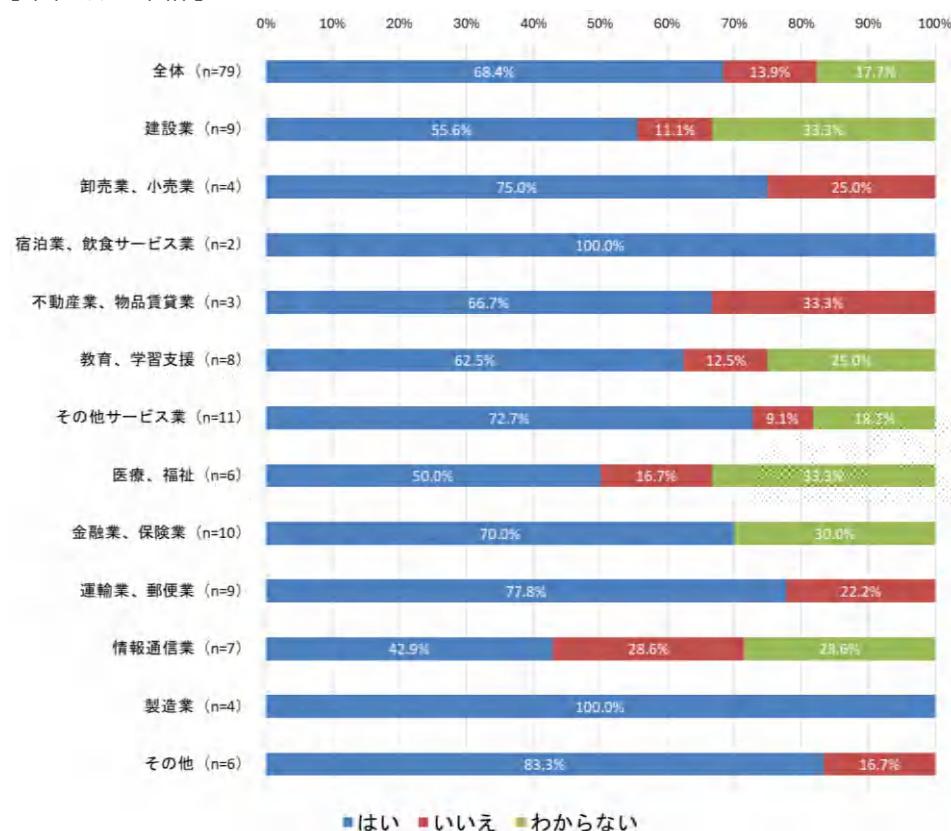
«問13で⑧選択»

問13-2. 生理休暇について従業員に周知をしていますか。(回答は1つ)

生理休暇があると回答した経営者に対して、生理休暇について従業員に周知をしているかをたずねたところ、「はい」は68.4%、「いいえ」は13.9%、「わからない」は17.7%である。

	回答者数(人)	構成比(%)
全体	79	100.0%
はい	54	68.4%
いいえ	11	13.9%
わからない	14	17.7%

【業種別の集計】



(8) 生理休暇の取得状況

«問13で⑧選択»

問13-3. 生理休暇を取得する女性従業員はいますか。(回答は1つ)

生理休暇があると回答した経営者に対して、生理休暇を取得する女性従業員がいるかをたずねたところ、「いる」は 24.1%、「いない」は 65.8%、「対象者がいない」は 1.3%、「把握していない」は 8.9%である。

	回答者数(人)	構成比(%)
全体	79	100.0%
いる	19	24.1%
いない	52	65.8%
対象者がいない	1	1.3%
把握していない	7	8.9%

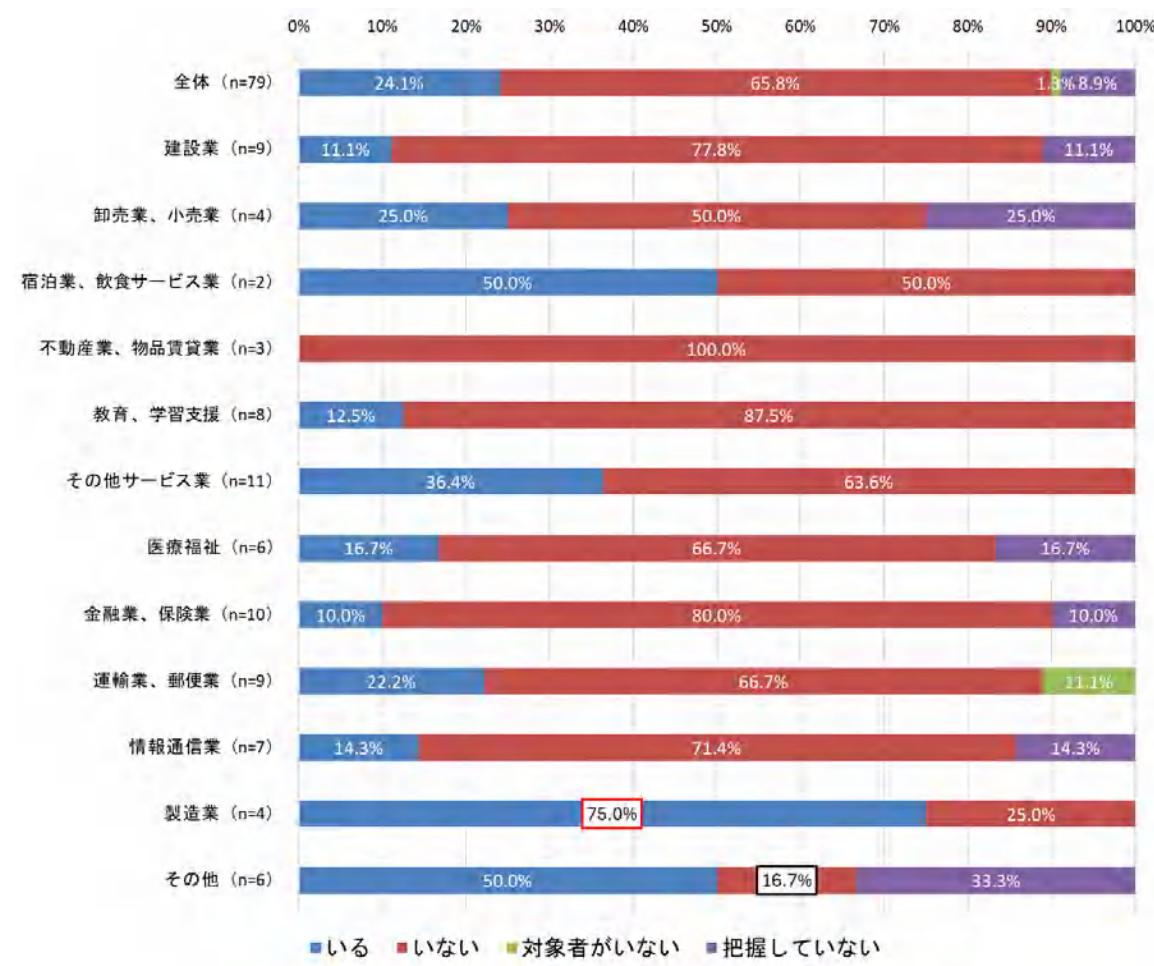
【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の1つの項目。

・製造業で「いる」と答えた方 75.0%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の1つの項目。

・その他で「いない」と答えた方 16.7%



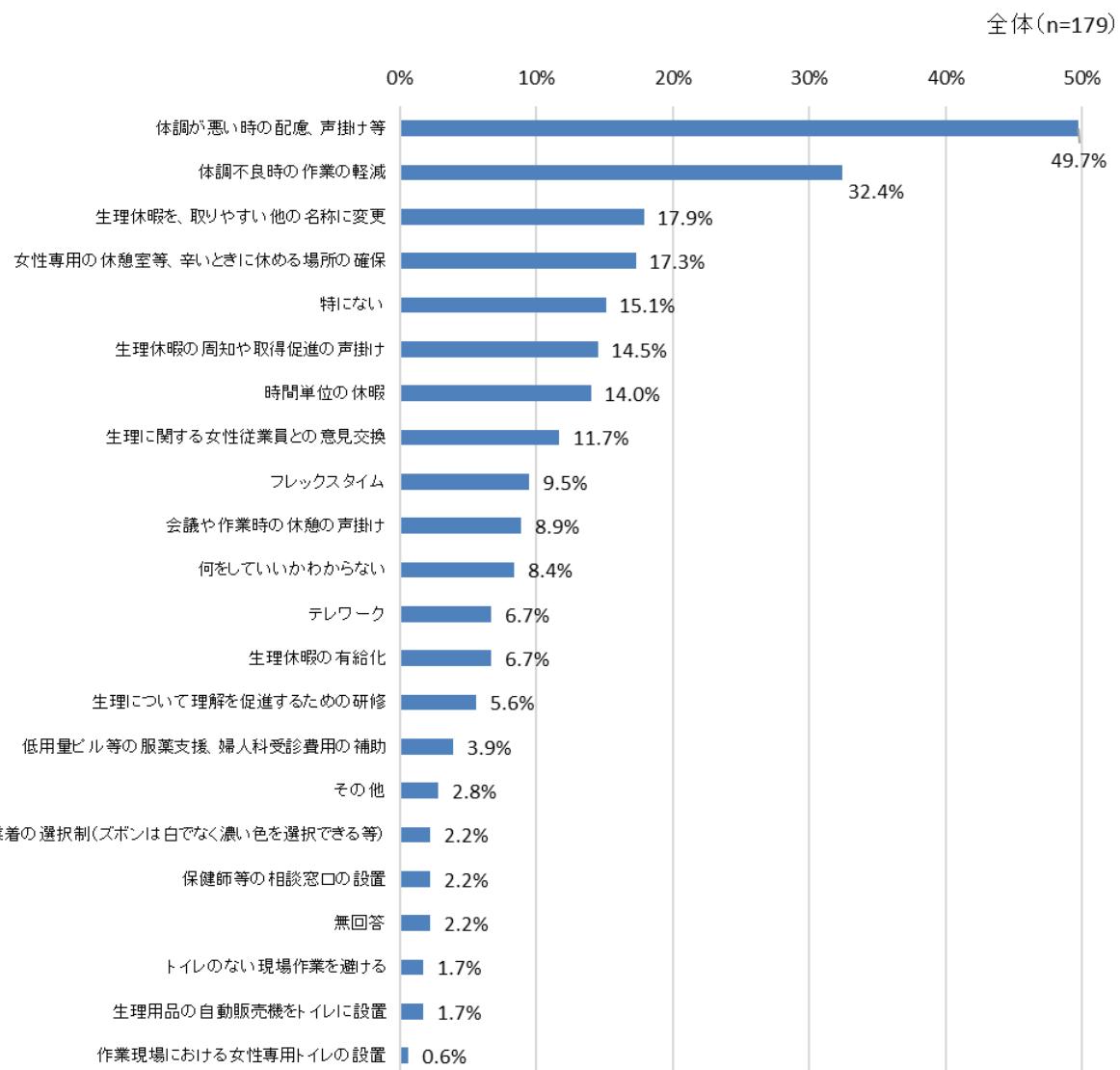
□ 全体結果よりも有意に高い □ 全体結果よりも有意に低い

□ 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(9) 今後やってみたい支援内容

問14. 生理に悩む従業員のため、今後やってみたいと考える支援内容があれば選択ください。 (回答はいくつでも)

「体調が悪い時の配慮、声掛け等」が49.7%で最多、次に「体調不良時の作業の軽減」が32.4%、その次に「生理休暇を、取りやすい他の名称に変更」が17.9%である。



「その他」の主な回答

- ・現在、生理休暇の有給化はすぐには難しいので、テレワークを併用できたらと考えている。
- ・新たに対象従業員を雇用したら考えたいと思う。
- ・当社の従業員は医師(産業医)・保健師なので各自が必要な知識を持ち、職場に啓蒙・サービスに出ている側である。すでに必要な診療、費用の補助なども行っている。
- ・生理休暇とは呼ばずウェルネス休暇とし、月1回は取得できる。年間で12回+2(リフレッシュ休暇)としている。
- ・すでに生理休暇や静養出来る環境は整えて実施している。

【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の3つの項目。

・不動産業、物品賃貸業で「体調不良時の作業の軽減」と答えた方 63.6%

・不動産業、物品賃貸業で「時間単位の休暇」と答えた方 45.5%

・運輸業、郵便業で「保健師等の相談窓口の設置」と答えた方 23.1%

	めりの研について理解を促進するた 单位(%)	体調が悪い時の配慮、声掛け等	見生交換に関する女性従業員との意 見生交換に関する女性従業員との意	に女性専用の休憩室等、辛いとき に女性専用の休憩室等、辛いとき	体調不良時の作業の軽減 会議や作業時の休憩の声掛け	トイレのない現場作業を避ける トイレのない現場作業を避ける	レ作業現場における女性専用トイ レ作業現場における女性専用トイ	な作業着の選択制(ズボンは白で な作業着の選択制(ズボンは白で	保健師等の相談窓口の設置 保健師等の相談窓口の設置	テ レワ ーク テ レワ ーク
全体(n=179)	5.6	49.7	11.7	17.3	32.4	8.9	1.7	0.6	2.2	6.7
業種	建設業(n=16)	6.2	50.0	0.0	6.2	18.8	0.0	0.0	6.2	0.0
	卸売業、小売業(n=8)	0.0	62.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	宿泊業、飲食サービス業(n=11)	0.0	36.4	0.0	0.0	54.5	18.2	0.0	0.0	9.1
	不動産業、物品賃貸業(n=11)	0.0	72.7	9.1	27.3	63.6	18.2	0.0	0.0	9.1
	教育、学習支援(n=22)	4.5	40.9	18.2	13.6	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0
	その他サービス業(n=26)	3.8	57.7	15.4	7.7	19.2	7.7	3.8	0.0	0.0
	医療、福祉(n=26)	3.8	46.2	7.7	19.2	46.2	7.7	0.0	0.0	7.7
	金融業、保険業(n=12)	16.7	41.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	8.3
	運輸業、郵便業(n=13)	15.4	69.2	23.1	38.5	46.2	23.1	7.7	0.0	0.0
	情報通信業(n=11)	0.0	54.5	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	製造業(n=8)	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(n=13)	15.4	46.2	7.7	30.8	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0
	無回答(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種	フレックスタイム	時間単位の休暇	掛け理休暇の周知や取得促進の声	称生に理変休暇を、取りやすい他の名	生理休暇の有給化	に生理用品の自動販売機をトイレ	科低受診費用等の服薬支援、婦人	その他	特にない	何をしていいかわからない
	全体(n=179)	9.5	14.0	14.5	17.9	6.7	1.7	3.9	2.8	15.1
	建設業(n=16)	6.2	6.2	25.0	12.5	6.2	0.0	0.0	12.5	25.0
	卸売業、小売業(n=8)	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	宿泊業、飲食サービス業(n=11)	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3
	不動産業、物品賃貸業(n=11)	9.1	45.5	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1
	教育、学習支援(n=22)	9.1	4.5	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7
	その他サービス業(n=26)	3.8	15.4	15.4	23.1	3.8	0.0	0.0	3.8	11.5
	医療、福祉(n=26)	11.5	11.5	3.8	11.5	3.8	3.8	7.7	7.7	15.4
	金融業、保険業(n=12)	25.0	16.7	16.7	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3
	運輸業、郵便業(n=13)	0.0	23.1	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0
	情報通信業(n=11)	9.1	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2
	製造業(n=8)	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	その他(n=13)	15.4	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
	無回答(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

全体結果よりも有意に高い

全体結果よりも有意に低い

参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)